



薔薇

山本行政ニュース

編集発行人

行政書士法人

山本事務所

〒104-0061

東京都中央区銀座1-8-21

中央ビル5F

TEL 03(3567)3071

FAX 03(3567)3078

6月の税務と労務

6月

(水無月) June

- 国 税 / 5月分源泉所得税の納付 6月10日
- 国 税 / 所得税の予定納税額の通知 6月16日
- 国 税 / 4月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等) 6月30日
- 国 税 / 10月決算法人の中間申告 6月30日
- 国 税 / 7月、10月、1月決算法人の消費税等の
中間申告(年3回の場合) 6月30日
- 地方税 / 個人の道府県民税及び市町村民税の納付
(第1期分) 市町村の条例で定める日
- 労 務 / 健康保険・厚生年金保険賞与等支払届 6月30日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

支払後5日以内

労 務 / 児童手当現況届(市町村役場に提出)

ワンポイント

戸籍謄本等の請求は本人確認が必要に 従来、戸籍謄本等の請求は誰でもできましたが、本年5月からは戸籍窓口での本人確認が必要になっています。他人の戸籍謄本等を不正に取得したり、サラ金から借入れを行う等の目的で第三者によって虚偽の婚姻届や養子縁組届が出される事件が起こっていたことから、これを防止するため戸籍法を改正したものです。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 経 | 営 | に | も |
| 役 | に | 立 | つ |
| イ | メ | ー | ジ |
| 思 | 考 | | |
| | | | |

イメージトレーニングの神秘

イメージ思考は、心の内側を劇的に変えてくれる特効薬となるものです。多くの人が気付いていませんが、抱えている悩みのほとんどの原因は、外部要因にあるのではなく、本人の心の中にあるものです。外部要因は、言い訳には便利ですが、たいていそこに原因があるわけではありません。セールスがうまくいかない原因は、あなたの心のなかにあるのです。

外部要因を忘れて、イメージ思考を駆使して自分の心の中を探ることにより、問題解決のヒントは簡単に見つかるものです。

「私には無理だ」「できっこない」と自分でブレーキをかければ、成長できるわけがありません。「無理だ」と思う理由をあげてみて、それを一つずつ潰していく方法もよいものです。勘の悪い人や直感の働かない人は、たいていの場合、右脳の活性化レベルが低いために、「イメージ力が不足した人」となっているのです。

一流のスポーツ選手の間では、イメージトレーニングは、ごく当たり前になっていま

す。日常的なにげない訓練で、イメージ力は伸びるものです。

学校の成績の悪い生徒に、「君は英語の才能に恵まれている」というメッセージを根気よく与え続けた結果、1年後に学校一の成績を上げるまでに成長したという話もあるくらいです。

イメージ力を鍛えるには、右脳を鍛えることです。右脳は体の左側を、左脳は右側をコントロールしています。体の左右のバランスをよくすることも、イメージを鍛えるには効果のある方法のようです。

イメージトレーニング法はいろいろな方法があるようですが、イメージ力を高めるには、次の3つの能力を高めればよいのです。

空間認識能力

毎日の通勤経路をいくつか用意し、日によって変えると、知らず知らずのうちに空間認識能力が鍛えられるというものです。知らない場所に行く場合、あらかじめ地図を見てイメージをつくっておき、実際にはイメージを手掛かりに

目的地をめざします。カーナビなど便利な道具が普及していますが、脳の空間認識能力は衰えていきます。空間認識能力を鍛えることが右脳を活性化させることに繋がります。

立体図形認識能力

よくメンタルテストなどに、立体のサイコロを示し、そのいくつかの展開図の中から正しいものを選ばせるテストがあります。こうした問題を解く練習をすることで、頭の中に、三次元の立体図形をイメージする能力を高めることになり、右脳の訓練になります。

絵画描写能力

週末に、画用紙と12色のクレヨンを持って出かけます。気に入った風景を見つけてスケッチをしてみましょ。スケッチの習慣がない人は、子どもの頃に比べ、いかに写実的に表現する能力が劣っているかがわかるはずです。できれば、左手でクレヨンを握って描けば、あなたの右脳に直接働いて効果は高まることになるでしょう。

その後の担保住宅

サブプライム問題が金融危機を招き、米経済を不況に追い込みかねないほどの深刻な事態になっていることは、日本のメディアもしきりに報じています。

しかし、返済ができなくなった住宅ローン債務者と、担保としてとられた住宅がどうなったのかについてはほとんど報道されていないのが現実です。典型的な事例を紹介します。

1998年、エリザベス・マニユエルさんは、ニューヨーク州バッファローで売り出されていた住宅を、銀行から34,500ドルの担保付住宅ローンを借りて買い求めました。銀行はこのローンを2002年までに証券化し、チェースマンハッタン（現在はJPモルガンチェース）が管理する債券トラストに売却しました。

ローン返済が滞り、チェースは担保権行使の手続きを開始しました。マニユエルさん（現在行方不明）は、裁判所の決定が出る前に家を出て行ったそうです。

それから5年以上になりますが、今も住宅所有名義はマニユエルさんのままです。

家はそのまま残っていますが、火で燃えた跡もあり、壊れた状態になっているようです。

2007年、裁判所は債務不履行を認める判決を行い、チェースに対し9,000ドルの支払いを請求しました。しかし、同行は2006年10月に信託業務をバンクオブニューヨークメロンに売却しており、責任者もわからず、これについて義務

サブプライムローンのつけ



を履行する考えはないようです。担保価値のない物件の管理費などは払えないというのがチェースの言い分ようです。

市当局の査定では、この住宅の資産価値は4,500ドルで、そのうちの4,300ドルは土地だといい、住宅は直ちに解体される必要があると、市の担当者はみているようです。

誰が債権者かわからない

このように、単純な住宅担保融資なら住宅の所有権が誰にあるかは明白ですが、ローンの証券化により、誰が本当の債権者かわからない状況になっています。

これは、日本の銀行と違いアメリカでは、銀行が住宅ローンを完済されるまで持つことはありません。ローンを証券化して転売してしまうのが商習慣なのです。

サブプライムローンのおかげでようやく念願のマイホームを持つ夢が叶ったと思ったとたんの悲劇です。アメリカでは格差が日本以上に広がっています。

しかし、金利は高く、もともと所得金額からみて、返済には無理があったのかもしれない。それを初期は元本返済無し、金利も傾斜型にして借りやすくして甘い言葉で誘惑した金融業者の責任はとても重いものです。

不安のある融資であっても、証券化すればリスクは他にヘッジし、当面利益をあげることができるのです。

証券化によって、本来存在すべきリスクは分散されているはずでした。融資が行われた時点では、それに見合う担保がとられていたはずでした。また、連邦準備制度理事会は、市場を信じてきました。政策は市場を活性化する方向に向きやすく、市場を統治するという考えは弱かったようです。80年代後半、円高が原因で発生した過剰流動性により不動産バブルが起きた日本よりも罪は重いかもしれません。

広がる都心の物置ビジネス

この1、2年過熱といえるほど続いていた都心のマンションブームですが、ここにきて一段落しているようです。これは法律改正の影響と、高額すぎて様子を見る消費者が増え始めたことなどがあるとのこと。ただ人気エリアの物件は相変わらずで、とくに高額でも平米数のある広い物件が人気のようです。美観とセキュリティ、他にはないサービスなどがポイントですが、とくに収納は重要です。とはいえ、マンションの収納には限界があります。

こうした中、都会を中心に広がりを見せているのが、個人向け物置。

ITの発達による省スペース化などの影響もあって、倉庫業界はここ数年伸び悩んでいますが、この10年ぐらいから各社が個人向け市場に注目しています。トランクルームや一時預かりの市場は、調査機関によって約800億円とも320億円とも言われますが、年に

数%の割合で成長し続けているそうです。

考えてみれば、ビジネスや家庭向けの「整理術」や「収納術」が繰り返し話題になるのは、捨てられないものがたくさんある証拠です。そういったものを預かって欲しいという需要は、潜在的に高いと思われます。預ける中身によって、保管期間も時間貸しから日貸し、月貸し、あるいは保管スタイルも用途によって衣類や貴重品、ワイン、オートバイ専用なんていうものもあります。引き取りや配達などのサービスもあるようで、ずいぶん使いやすくなっています。このほか空き部屋や空きスペースをトランクルームに活用するビジネスも立ち上がっているようで、マスコミへの露出が多くなればさらに利用者は増えそうです。

アメリカではこうしたトランクルームサービス市場は2兆7000億円もあるといいますが、国土面積と利用者の市場規模からすれば、今の数十倍は広がってもよさそうです。これで安心してモノが買える時代になるのでしょうか？

生活用品に続き、野菜まで黒く！

生活用品に「黒」を使うことが流行ですが、トイレットペーパーや、まな板まで黒が登場するなど話題に。そして今、注目され始めているのが黒い野菜です。

といっても、今まで話題になっていた黒ゴマや黒豆といった食材ではありません。黒い大根や黒いカブといったものです。流行に便乗して人工的に作ったのではなく、ヨーロッパなどで普通に食卓にあがる野菜だということも話題になっているゆえんです。たとえば大根。「大根は白」と思っている方がほとんどでしょうけれど、なんと黒い大根はヨーロッパの定番野菜です。黒いのは皮だけで、中身は白なので、薄くスライスすると黒白のコントラストがキレイだとか。黒色は火を通して色は変わらないので、高級レストランなどでも人気の食材です。

これらの野菜は、一般の店頭ではなかなか手に入らないため、インターネットを利用して農家と直契約をするのがおすすめです。

フェアトレード

アジアやアフリカ、中南米などの、いわゆる途上国で作られた製品を長期的に適正、つまり公正（フェア）な価格で買い取り、先進国で販売する貿易をフェアトレードと呼びます。

途上国の自立を支援し生活向上を図ることを目的としたもので、第二次世界大戦後に欧米で始まり、日本でも一九八六年にスタートしました。最初はごく一部の

人々による限られた活動でしたが、最近、急速に一般の人々の間で広がりを見せています。中でも食品、そしてファッション業界の取り組みには顕著なものがあります。

六年前に大手コーヒーショップチェーンが日本でもフェアトレード認証付きコーヒーの販売を開始し、その後、大手企業による市場参入が見られました。誰でも簡単に行える「身近な国際協力」とも言えるのがフェアトレードです。